

## 文化庁 補助金事業 続々と実績!

屋保連では、真に会員地区に役立つ保存継承事業として、2021年度(2022年年明けより、文化庁の「文化芸術振興費補助金」をフロパー事業として行っているが、要望・申請→受給実績が続々と挙がってきている。

\*文化庁の本事業は正式名称を「地域文化財総合活用推進事業」【文化芸術振興費補助金】と云い、概ね取組に合った、地域に古くから継承されている当該地域固有の文化遺産を活用した取組が対象となる。具体的には、機屋・屋台・獅子頭・衣装等の修復を対象とした用具等整備。

### ★令和3年度補正

神社	地区	要望・申請額	給付額	対象部位
A神社	a地区	8,362,000	6,344,000	棟漆塗&金箔 狭間・銚金具・櫓柱
B神社	b地区	3,245,000	2,465,000	伊達綱・高欄掛
B神社	c地区	4,216,000	3,201,000	太鼓皮・銚金具
屋保連計		15,823,000	12,010,000	-----

### ★令和5年度

神社	地区	申請額	給付額	対象部位
C神社	d地区	7,565,000	(決定) 7,565,000	練棒・土呂台・高欄 棟漆塗&鍍金
D神社	e地区	935,000	(決定) 935,000	紋・水切金具 練棒・正角
屋保連計		8,500,000	(決定) 8,500,000	-----

### ★令和4年度補正

神社	地区	要望額	給付額	対象部位
E神社	f地区	8,225,000	(内定) 8,225,000	高欄掛
屋保連計		8,225,000	(内定) 8,225,000	-----

屋保連総合計	申請・要望額	給付額(含:決定・内定)
	32,548,000	28,735,000

上表に見る様に、過去3年度の本・補正予算で、屋保連は補助事業者の位置付けでも地区の申請・要望を行った。初めて行った令和3年度補正予算に於いては、申請額15,823,000円に対し12,010,000円を受給(受給率75.9%)。

令和5年度予算・令和4年度補正予算では現在手続中だが、両方とも申請・要望額通りの採択通知を受けている(8,500,000円+8,225,000円)ので、総合計28,735,000円のも上る補助金を受け見通しである。